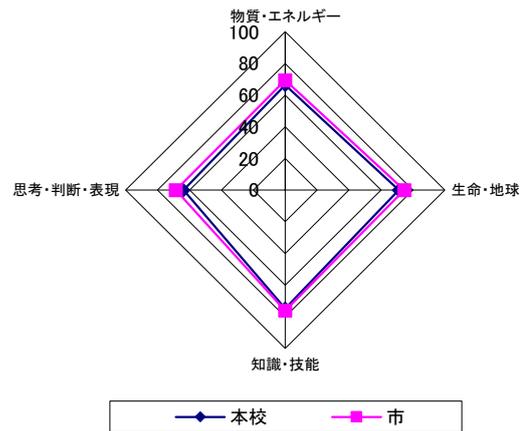


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.5	69.3	65.7
	生命・地球	71.2	74.7	77.8
観点別	知識・技能	74.7	76.2	76.4
	思考・判断・表現	63.8	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>●校内正答率は66.5%で、市の平均を2.8ポイント下回った。</p> <p>●「ろうそくの火が消えた理由についての考察を改善し、記述できる」を問う設問では、校内正答率37.9%で、市の平均を14ポイント下回った。</p> <p>○「ものが水にとけて透明になった液のことを『水よう液』ということを理解している」について問う設問では、校内正答率81.6%で、市の平均を5.1ポイント上回った。</p>	<p>実験の際に、変える条件と変えない条件に着目して実験を計画したり、結果からなぜそうなったのか理由を考えてノートやワークシートに記述したりして、思考についての過程を大切にしていこうにする。教科書の確かめ問題やまとめの部分などを活用し、既習内容を確認することで定着を図っていく。</p>
生命・地球	<p>●校内正答率は71.2%で、市の平均を3.5ポイント下回った。</p> <p>●「日光が植物の生育に必要なことを、葉のでんぷんをつくるはたらきの観点から記述できる」について問う設問では、校内正答率は37.9%で、市の正答率を11.3ポイント下回った。</p> <p>○「いすに座った人を地球に、電灯を太陽に見立てていることを指摘できる」を問う設問では校内正答率89.7%で、市の正答率を8.4ポイント上回った。</p>	<p>実験のデータの取り方や処理の仕方について十分に指導するとともに、実験結果や観察記録などのデータと現象とを関係付けて考察する活動を、十分に行っていく。「植物のからだのつくりとはたらき」では、学習した植物の光合成や呼吸のはたらきを言葉で整理するだけでなく、図や記号を用いてまとめるように指導していく。普段の生活の中においても自然の現象に着目し、「なぜ」「どうして」と疑問をもつ機会を増やしていくようにする。</p>